地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

資料6

協議会名：松山市コンパクトなまちづくり推進協議会
評価対象事業名：松山市地域公共交通計画策定調査業務

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
①地域概況、地域公共交通の現状整理 【内容】 人口及び少子・高齢化の動向や分布、土地利用、市街化状況、その他社会・経済の動向、主要施設の立地状況など、地域の概況について把握・整理を行う。 　また、市内で運行されている鉄軌道や路線バス、航路、タクシーなどの地域公共交通に加えて、民間で運行されている乗合タクシーなどの運行状況や、利用状況、運転免許保有者数について、事業者や利用者へのヒアリングなども活用しながら整理する。 さらに、令和5年に実施された「松山都市圏パーソントリップ調査」の結果や、「第7次松山市総合計画の策定に向けた市民アンケート」の結果をもとに、人の移動・活動実態（年代別）や地域公共交通に対する市民意識等を整理する。 【結果】 市保有データによる人口や主要施設の立地状況、公共交通の利用状況等の整理を行うだけでなく、事業者へのヒアリング等を行い、新たなモビリティサービス等の把握・整理を行った。また、PT調査による代表交通手段分担率や市民アンケートにより地域公共交通の役割を整理した。 ②地域公共交通の問題点・課題の整理 【内容】 「松山市地域公共交通網形成計画」（平成31年3月）における施策・事業の進捗状況や成果、課題等について、これまでの取組を踏まえて整理する。また、地域公共交通の現状を踏まえ、問題点・課題を整理する。 【結果】 地域公共交通網形成計画の進捗状況や成果を示した。当該計画の達成状況や地域公共交通等の現状を踏まえ、問題点や課題の整理を行った。 ③地域公共交通計画（案）のとりまとめ 【内容】 松山市が目指すまちづくりの方向性や地域公共交通が果たすべき役割などを明確にした上で、地域公共交通活性化・再生のための基本的な方針や計画の目標を設定する。 なお、目標は、「松山都市圏パーソントリップ調査」をもとに実施した地域公共交通に関する将来予測を加味して設定するものとする。 さらに、設定した計画目標の達成に向けて、具体的かつ実現可能な施策・事業、事業実施主体等について検討・設定する。 【結果】 第7次松山市総合計画の分野別未来像に対する地域公共交通の役割を明確にし、基本的な方針や目標を設定した。 また、その方向性に沿った施策や事業等を立案した。 松山都市圏パーソントリップ調査データを用いた将来のゾーン別発生集中量や代表交通手段分担率などの推計結果をもとに、KPI設定の適正や対策必要エリアについて確認した。 ④協議会開催 【内容】 計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催する。 【結果】計画策定に関わる協議を以下の日程で3回開催済。 ・令和7年7月20日、10月3日、12月22日	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されている。	協議会で整理した方針や目標等を盛り込んだ地域公共交通計画（素案）に対し、パブリックコメントを実施し、令和8年3月に松山市地域公共交通計画を策定予定